

Q 葛巻病院の診療体制は

A 県立中央病院などの協力体制強まる



やまぎし み
山岸はる美 議員



力を合わせてがんばっています。

議員 国全体でも医師不足が深刻な状況のなか、葛巻病院の常勤医師は4月4人体制でしたが、院長、副院長の辞職により現在は2人体制です。

救急指定病院、そして町の中核医療を担う病院として今後の診療体制をどうするのか。

町長 4月1日時点では内科医2名、外科医2名これに小児科・眼科・産婦人科の非常勤医師を加えた医師数は患者数に対する医師標準数を上回っていました。

しかし、7月以降2名の医師が退職し標準数を下回ったが県立中央

町長 ①7月の有効求人倍率は下表のとおりです。数値は回復傾向にあります。依然として厳しい状況です。企業誘致ではあり

A 盛岡広域地域活性化協議会に期待

- ① 町内の求人倍率
- ② 企業誘致の取り組み
- ③ 関連して所得の向上策は

議員 日本一元気な町と内外から賞賛されている当町でも新たな企業誘致もなく町内での就職は非常に困難な状況です。

次の項目はどうなっているか。

Q 雇用の場確保と所得の向上策は

病院をはじめとする非常勤医師の診療応援をいただき9月1日現在は85%の充足率となりました。

住民から信頼される安全な医療の提供と健全な病院経営には、これにも医師確保が不可欠であることから町としても、岩手医大、岩手県、岩手県国保連合会など、一層の連携と協力をいただきながら医師確保に最善を尽くしてまいります。

有効求人倍率表		
全 国	15年	0.64
	19年	1.07
岩手県	15年	0.52
	19年	0.76
葛巻町	15年	0.27
	19年	0.53

ませんが、15年度開所「アットホーム葛巻」、18年度増設「守山乳業葛巻工場」により約60人の新たな雇用の場が確保されました。

②当町は、立地条件など非常に厳しいが対策として、県と盛岡広域圏8市町村が連携してIT関連産業を中心とした業種を目的として8月28日「盛岡広域地域活性化協議会」を設置し今年度から23年度まで取り組み、同協議会を通じて町への誘致と併せて通勤範囲である広域市町村への誘致についても協力して推進していく考えです。

③16年度の町民所得は約177万円、県平均が237万円、58市町村中37番目となっています。

企業誘致などの施策の展開と併せて基幹産業である酪農と林業を振興するほか都市との交流を活発化させ、さらには商工業の振興を図り町民所得の向上に努めてまいります。



りっぱなリードマンです。

議員 昨秋以来配合飼料の価格が高騰し経営が立ちゆかなくなっています。そこで我が町の基幹産業である畜産農家に支援はどうなっているのか。

町長 配合飼料価格は9月期で前年比トントン当たり約1万2千円上昇(25%)、粗飼料も10%上昇している。この要因は原油の高騰とトウモロコシの燃料用途化によるものや海上輸送費の上昇、円安が考えられます。

配合飼料価格安定制度により価格上昇分の一定を超える部分は補てんされる仕組みがあるが畜産農家負担は増加している。

町ではこれまで、公共牧場の活用や草地造成、草地整備を実施する畜産農家に対しては事業費の10%をかさ上げ助成して粗飼料自給率向上のための対策を講じてまいりましたが、粗飼料基盤整備に対する支援をさらに推進して農

議員 農林業及び第2次、第3次産業をどう発展させていくのか。

町長 産業の基幹は農業と林業である。農業の発展のためには畜産を基幹に農業生産の拡大を図り、町の特色である豊富な有機資源の活用や粗飼料自給率の向上、夏冷涼な気象条件を活かした野菜・花き等を推進し、小規模農家も一定の役割を担いながら持続で

A 農林業の発展が町発展の原動力

Q 産業振興の政策案示せ

家経済にも貢献できるよう図っていきます。造成後機能が低下し更新されない草地に対する低コストの更新技術の普及を図ってまいります。



集成材加工現場(有限会社高吟製材所)

きる産地の形成に取り組むことが重要と考えております。次に林業振興策についてですが、森林は、長い年月をかけ計画的に整備されるものですから、基本的には「持続可能な森林業の確立」を目指し、適正な森林整備、地場産材の高度利用とブランド化、担い手育成などに努めてまいります。



すずき みつる
鈴木 満 議員

Q 畜産農家への緊急支援は

A 粗飼料基盤整備を支援する